

## 目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
建設課	農業の振興	3415	小規模土地改良事業費	小規模土地改良事業費	簡易	1
建設課	農業の振興	3445	農業用施設管理費	農業用施設管理費	簡易	2
建設課	農業の振興	03561-0	農村地域防災減災事業	農村地域防災減災事業	簡易	3
建設課	農業の振興	3561	農村地域防災減災事業	農村地域防災減災事業	簡易	4
建設課	農業の振興	3602	農業施設管理費	香々美ダム経常管理費	簡易	5
建設課	農業の振興	3603	農業施設管理費	香々美ダム臨時管理費	簡易	6
建設課	農業の振興	3606	農業施設管理費	小公園経常管理費	簡易	7
建設課	林業の振興	3811	小規模林道整備事業費	美作北2号線改良事業費	簡易	8
建設課	林業の振興	3812	小規模林道整備事業費	津のう谷線改良事業費	簡易	9
建設課	林業の振興	3845	小規模林道整備事業費	裏土地線舗装事業費	簡易	10
建設課	林業の振興	3817	小規模林道整備事業費	中林線改良事業費	簡易	11
建設課	林業の振興	3860	治山林道事業費	泉山線開設事業費	簡易	12
建設課	林業の振興	3895	治山林道管理費	治山林道管理費	簡易	13
建設課	林業の振興	3936	単独林道整備事業費	作業道細田線開設事業	総合	14-15
建設課	道路網の整備	4651	土木総務管理費	土木総務経常管理費	簡易	16
建設課	道路網の整備	4652	土木総務管理費	土木総務臨時管理費	簡易	17
建設課	道路網の整備	4671	道路橋梁総務管理費	道路橋梁総務経常管理費	簡易	18
建設課	道路網の整備	4700	道路維持経常管理費	道路維持経常管理費	簡易	19
建設課	道路網の整備	4705	道路維持補修事業費	道路維持補修事業費	簡易	20
建設課	道路網の整備	4710	除排雪事業費	除排雪事業費	簡易	21
建設課	道路網の整備	4714	除排雪事業費	除雪車整備事業費	簡易	22
建設課	道路網の整備	04714-0	除排雪事業費	除雪車整備事業費	簡易	23
建設課	道路網の整備	4715	除排雪事業費	社会資本統合整備交付金事業	簡易	24
建設課	道路網の整備	4720	道路河川愛護費	道路河川愛護費	簡易	25
建設課	道路網の整備	4735	緊急自然災害対策事業費	町道靴掛線改修事業費	簡易	26
建設課	道路網の整備	4770	単独改良事業費	単独改良事業費	総合	27-28
建設課	道路網の整備	04837-0	過疎対策事業費	町道古川小座線歩道新設事業費	総合	29-30
建設課	道路網の整備	4837	過疎対策事業費	町道古川小座線歩道新設事業費	総合	31-32
建設課	道路網の整備	4915	単独舗装事業費	町道単独舗装事業費	総合	33-34
建設課	道路網の整備	4950	緊急自然災害対策事業費	町道富東谷線改良事業費	簡易	35
建設課	道路網の整備	4951	緊急自然災害対策事業費	町道上の房尾崎線改良事業費	簡易	36
建設課	道路網の整備	4952	緊急自然災害対策事業費	町道中林線改良事業費	簡易	37
建設課	道路網の整備	4953	緊急自然災害対策事業費	町道沢田原線舗装事業費	簡易	38
建設課	道路網の整備	4954	緊急自然災害対策事業費	町道赤和瀬2号線舗装事業費	簡易	39
建設課	道路網の整備	5061	橋梁整備事業費	補助橋梁整備事業費	総合	40-41
建設課	道路網の整備	5062	橋梁整備事業費	単独橋梁整備事業費	簡易	42
建設課	道路網の整備	05062-0	橋梁整備事業費	単独橋梁整備事業費	簡易	43
建設課	道路網の整備	5063	橋梁整備事業費	国司谷橋橋梁改修事業費	簡易	44
建設課	道路網の整備	5065	橋梁整備事業費	仲田橋橋梁改修事業費	簡易	45
建設課	道路網の整備	5067	橋梁整備事業費	新橋橋梁改修事業費	簡易	46
建設課	道路網の整備	5068	橋梁整備事業費	大渡橋橋梁改修事業費	簡易	47
建設課	道路網の整備	5072	橋梁整備事業費	紙屋橋橋梁改修事業費	簡易	48
建設課	道路網の整備	5073	橋梁整備事業費	真開橋橋梁改修事業費	簡易	49
建設課	防災対策の推進	05180-0	河川維持補修費	河川維持補修費	簡易	50
建設課	防災対策の推進	5180	河川維持補修費	河川維持補修費	簡易	51
建設課	防災対策の推進	5181	河川維持補修費	普通河川水村川河川改修事業費	簡易	52
建設課	定住化の促進	5252	住宅管理費	住宅共通経常管理費	簡易	53
建設課	定住化の促進	5254	住宅管理費	建築物耐震診断等事業費補助金	簡易	54
建設課	定住化の促進	5256	住宅管理費	木造住宅耐震改修事業費補助金	簡易	55
建設課	定住化の促進	5278	町営住宅管理費	公営住宅等経常管理費	簡易	56
建設課	定住化の促進	5279	町営住宅管理費	特公賃・その他住宅等経常管理費	簡易	57

事業番号	事務事業名	小規模土地改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己	
03415	政策名	2	地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	井上 嘉一郎
	施策名	21	農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助事業対象外の小規模なものについて、地元関係者からの要望により、農業基盤整備をおこなうもの。 ①要望のとりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④発注監理 ⑤竣工検査 ⑥実績報告 ⑦地元分担金徴収 ⑧補助金請求	国庫補助事業対象外の小規模なものについて、農業基盤整備をおこない農業経営の安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	農地	→	ア	ha	見込	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810
					実績	1,810	1,810	1,810		
イ	農家	→	イ	戸	見込	1,418	1,418	1,418	1,418	1,418
					実績	1,418	1,418	1,418		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	農作物の効率化、維持軽減	→	ア	件	目標	7	4	5	2	3
					実績	5	4	5		
					達成率	71.4%	100.0%	100.0%		166.7%
イ	農道橋梁点検	→	イ	橋	目標	16	0	3	0	0
					実績	17	0	2		
					達成率	106.3%	—	66.7%		—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	設計施工監理	→	ア	件	目標	7	4	6	2	3
					実績	6	4	6		
					達成率	85.7%	100.0%	100.0%		200.0%
イ	事務	→	イ	件	目標	7	4	6	2	3
					実績	6	4	6		
					達成率	85.7%	100.0%	100.0%		200.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう
イ	農地	イ	農地の保全
ウ		ウ	担い手の育成・確保
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		05		03 01					事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		小規模土地改良事業費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	21,493	5,918	22,664	11,000	13,500	16,746	県支出金	21,493	5,918	17,441	11,000	13,500	11,523	
町債				8,000			町債				8,000			
その他特財	12,391	3,037	9,438		8,250	6,401	その他特財	10,791	3,037	4,859		8,250	1,822	
一般財源	20,466	10,370	13,930	2,300	8,250	3,560	一般財源	15,423	9,673	15,530	2,300	8,250	5,857	
合計	54,350	19,325	46,032	21,300	30,000	26,707	合計(A)	47,707	18,628	37,830	21,300	30,000	19,202	
財源名称	小規模土地改良事業費補助					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	地元分担金(負担金)					延べ業務事務時間	40	40	40	40	40			
						人件費計(千円)(B)	137	134	133	133	133	-1		
	最終予算額		46,032 千円	予算執行率	82.1%	トータルコスト(A+B)	47,844	18,762	37,963	21,433	30,133	19,201		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地元要望を取りまとめ、緊急性や重要性等を考慮し、施設の改善を図った。農業生産の基盤である農業用施設の改修であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	農業用施設管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03445	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	井上 嘉一郎
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・農業用施設利用者の団体(水利組合等)が、施設の構造・維持管理をおこなう上で、必要な原材料の支給及び簡易な修繕に対し重機借上料を支払うもの。 ①要望のとりまとめ ②審査 ③決定通知 ④実施 ⑤竣工検査 ⑥補助金支払い	農業用施設の維持管理を実施し、農業経営の安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 農地	ア 耕地面積	ha	見込 実績	1,810 1,810	1,810 1,810	1,810 1,810	1,810	1,810
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 農業用施設を適切に維持してもらう	ア 重機借上 要望件数	件	目標 実績 達成率	71 67 94.4%	49 51 104.1%	50 41 82.0%	50	50
イ	イ 原材料支給 要望件数	件	目標 実績 達成率	59 51 86.4%	52 48 92.3%	50 33 66.0%	50	50
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 重機借上	ア 重機借上 件数	件	目標 実績 達成率	67 67 100.0%	51 51 100.0%	50 41 82.0%	50	50
イ 原材料支給	イ 原材料支給 件数	件	目標 実績 達成率	51 51 100.0%	48 48 100.0%	50 33 66.0%	50	50



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		01 項		05 目		09 01 予算上の事業名					03445 事業番号	
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		農業用施設管理費						
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	87	90				-90	その他特財	87	90				-90		
一般財源	14,384	10,012	7,691	6,443	6,000	-2,321	一般財源	13,715	9,523	7,681	6,443	6,000	-1,842		
合計	14,471	10,102	7,691	6,443	6,000	-2,411	合計(A)	13,802	9,613	7,681	6,443	6,000	-1,932		
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間								30	30	30	30	30		
	人件費計(千円)(B)								103	101	100	100	100	-1	
	最終予算額		7,691 千円		予算執行率		99.8%		トータルコスト(A+B)		13,905	9,714	7,781	6,543	6,100

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	要望箇所について適切な処理を行い事業を進めることができた。農業経営の安定のため今後も続けていく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	農村地域防災減災事業	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03561-0	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	(令和4年度→5年度繰越) 香々美川土地改良区及び地元関係者からの要望により、自然災害を未然に防ぎ、地域住民の防災力向上を図るもの。 ①要望とりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④工事発注 ⑤しゅん工検査 ⑥実績報告 ⑦補助金請求	平成10年台風10号豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害により、農地・農業用施設が洪水被害を受けた経緯から、防災力の向上・安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	小池峪池、大蔵池	→	ア	箇所	見込 実績			2 2		
イ	大井手頭首工	→	イ	箇所	見込 実績			1 1		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	危険なため池を廃止	→	ア	箇所	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		
イ	危険な頭首工の改修	→	イ	箇所	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	地元調整	→	ア	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0%		
イ	地元調整	→	イ	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう
イ	農地	イ	農地の保全
ウ		ウ	担い手の育成・確保
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		06 農林水産業費		01 農業費		05 農地費		24 01 農村地域防災減災事業					事業番号 03561-0
	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	
国庫支出金			14,454			14,454	国庫支出金			14,454			14,454	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			12,004			12,004	一般財源			3,178			3,178	
合計			26,458			26,458	合計(A)			17,632			17,632	
財源名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助						従事正職員人数				1			1
	地元分担金						延べ業務事務時間				60			60
							人件費計(千円)(B)				200			200
	最終予算額		26,458 千円		予算執行率		66.6%		トータルコスト(A+B)				17,832	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	関係機関と調整を行い、防災力向上に貢献することができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	農村地域防災減災事業	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03561	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 31 年度~ 9 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	香々美川土地改良区及び地元関係者からの要望により、自然災害を未然に防ぎ、地域住民の防災力向上を図るもの。 ①要望とりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④工事発注 ⑤竣工検査 ⑥実績報告 ⑦補助金請求	平成10年台風10号豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害により、農地・農業用施設が洪水被害を受けた経緯から、防災力の向上・安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 大蔵池、狩衣池	ア ため池数(廃止、改修)	箇所	見込 実績	1 1	2 2	2 2	1	1
イ 大井手頭首工、楮原頭首工	イ 頭首工数(改修)	箇所	見込 実績	1 1	1 1	2 2	1	1
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 危険なため池の廃止、改修	ア ため池数	箇所	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	1	1 200.0%
イ 危険な頭首工の改修	イ 頭首工数	箇所	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	2 2 100.0%	1	1 200.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地元調整	ア 調整回数(協議等)	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%	3	3 200.0%
イ 地元調整	イ 調整回数(協議等)	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	6 6 100.0%	3	3 200.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		01 項		05 目		24 01 予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		農村地域防災減災事業					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金	15,000	39,191	8,500			-30,691	国庫支出金	6,639	16,465	8,500		-7,965		
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	1,720	685	734	1,120	673	49	その他特財		685	734	1,120	673	49	
一般財源	76,138	27,830	29,466	22,200	14,892	1,636	一般財源	74,088	23,738	17,730	22,200	14,892	-6,008	
合計	92,858	67,706	38,700	23,320	15,565	-29,006	合計(A)	80,727	40,888	26,964	23,320	15,565	-13,924	
財源名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	地元分担金					延べ業務事務時間	50	50	50	50	50			
						人件費計(千円)(B)	171	168	167	167	167	-1		
	最終予算額		38,700 千円	予算執行率	69.6%		トータルコスト(A+B)	80,898	41,056	27,131	23,487	15,732	-13,925	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	関係機関と調整を行い、防災力向上に貢献することができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香々美ダム経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03602	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	小原 修三
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	岡山県から管理委譲を受けた香々美ダムの維持管理をおこなうもの。 ①補助金申請 ②維持管理 ③竣工検査 ④実績報告 ⑤補助金請求	洪水被害の防止及び農業用水の確保を目的とした香々美ダムは、昭和48年度に完成したのち、昭和50年4月1日から岡山県より管理委託を受託したため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香々美ダム	ア 総貯水量	m3	見込 実績	1,853 1,853	1,853 1,853	1,853 1,853	1,853	1,853
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 洪水被害の防止	ア 防災受益面積	ha	目標 実績 達成率	447 447 100.0%	447 447 100.0%	447 447 100.0%	447	447
イ 農業用水の確保	イ 農業用水確保可能な受益面積	ha	目標 実績 達成率	675 675 100.0%	675 675 100.0%	675 675 100.0%	675	675
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 水防体制	ア 水防体制件数	件	目標 実績 達成率	10 30 300.0%	10 14 140.0%	10 19 190.0%	10	10
イ 事務	イ 事務件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		06		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農業施設費		香々美ダム経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	9,728	13,728	12,819	12,819	12,819	-909	県支出金	9,728	13,730	12,819	12,819	12,819	-911	
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	5,589	6,637	4,419	4,419	4,419	-2,218	一般財源	5,249	5,255	4,151	4,151	4,151	-1,104	
合計	15,317	20,365	17,238	17,238	17,238	-3,127	合計(A)	14,977	18,985	16,970	16,970	16,970	-2,015	
財源名称	基幹的農業水利施設適正管理事業費補助					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間	300	300	300	300	300			
						人件費計(千円)(B)	1,026	1,009	1,001	1,001	1,001	-8		
	最終予算額	17,238 千円	予算執行率	98.4%		トータルコスト(A+B)	16,003	19,994	17,971	17,971	17,971	-2,023		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	適切に管理運営がなされているが、完成から50年程度経過し、機器の老朽化や堆積量の増加などの懸念事項はある
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香々美ダム臨時管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03603	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	小原 修三
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	香々美ダム堆砂処分場測量 警報車の更新	堆砂量が年々増加しているため、何時でも適切な貯水量確保が行えるよう処分場の確保・計画を行う。 警報車も配備後のかなりの経過年数が経ち、整備費高騰や整備部品等の調達も困難になってきたため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香々美ダム	ア 総貯水量	m	見込 実績	1,853 1,853	1,853 1,853	1,853 1,853	1,853	1,853
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 洪水被害の防止	ア 防災受面面積	ha	目標 実績 達成率	447 447 100.0%	447 447 100.0%	447 447 100.0%	447	447
イ 農業用水の確保	イ 農業用水確保可能な受益面積	ha	目標 実績 達成率	675 675 100.0%	675 675 100.0%	675 675 100.0%	675	675
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 水防体制	ア 済棒体制件数	件	目標 実績 達成率	10 30 300.0%	10 14 140.0%	10 19 190.0%	10	10
イ 事務	イ 事務件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		06		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農業施設費		香々美ダム臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金			1,166		1,166	県支出金			1,166			1,166		
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源			2,913		2,913	一般財源			2,873			2,873		
合計			4,079		4,079	合計(A)			4,039			4,039		
財源名称	基本的農業水利施設適正管理事業費補助					従事正職員人数			1			1		
						延べ業務事務時間			30			30		
						人件費計(千円)(B)			100			100		
	最終予算額	4,079 千円		予算執行率	99.0%		トータルコスト(A+B)			4,139			4,139	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香々美ダムの堆積した土砂撤去の処分場の測量及び、ダムの警報車の更新事業を実施した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小公園経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03606	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	土地改良総合整備事業で整備した、農村公園・ため池公園の維持管理に係る委託料を施設管理者に支払うもの。 ①極楽寺池公園(100千円) ②大峪池公園(50千円)	土地改良総合整備事業の特認事業として農村生活環境の改善により、土地改良施設以外の公園整備として設置したため。(平成15年度より地元委託)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小公園	ア 小公園数	箇所	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
イ 管理団体	イ 団体数	団体	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適正な維持管理を行う	ア 清掃・修繕等の件数	件	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 事務	ア 事務件数	件	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ 修繕工事	イ 修繕件数	件	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	0	0

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		06		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農業施設費		小公園経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	11	3			-3	その他特財	10	3				-3		
一般財源	239	147	150	150	3	一般財源	140	147	150	150	150	3		
合計	250	150	150	150	150	合計(A)	150	150	150	150	150	0		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間						8	8	8	8	8	8		
	人件費計(千円)(B)						27	27	27	27	27	-0		
	最終予算額		150 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		177	177	177	177	-0	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	平成15年度より継続して実施している本事業により、小公園の景観の保持、環境の整備が促進されている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	



事業番号	事務事業名	美作北2号線改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03811	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、鏡野町上齋原から真庭市(旧中和村)までの連絡道としても利用されていることから、道路改良をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道美作北2号線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績			984 984		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績			9,991 9,991		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 森林施業の利用向上を図る	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率			16 16 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		07 02 07 12 予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		美作北2号線改良事業費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金			2,981			2,981	県支出金			2,981			2,981	
町債			3,000			3,000	町債			3,000			3,000	
その他特財							その他特財							
一般財源			748			748	一般財源			740			740	
合計			6,729			6,729	合計(A)			6,721			6,721	
財源名称	小規模林道整備事業補助金						従事正職員人数				1		1	
	過疎対策事業債						延べ業務事務時間				50		50	
							人件費計(千円)(B)				167		167	
	最終予算額		6,729 千円		予算執行率	99.8%	トータルコスト(A+B)				6,888		6,888	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	改良工事により本路線利用者の通行の安全が確保された
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	津のう谷線改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03812	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、県道窪西湯原線と林道流田線の連絡道としても利用されていることから、改良をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道津のう谷線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績			88 88		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績			1,714 1,714		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 森林施業の向上を図る	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率			58 58 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
イ 補助事務	イ 補助事務	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		07 02 07 13 予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		津のう谷線改良事業費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金			4,590			4,590	県支出金			4,590			4,590	
町債			8,200			8,200	町債			8,200			8,200	
その他特財							その他特財							
一般財源			4,271			4,271	一般財源			4,271			4,271	
合計			17,061			17,061	合計(A)			17,061			17,061	
財源名称	小規模林道整備事業補助金						従事正職員人数				1		1	
	辺地対策事業債						延べ業務事務時間				50		50	
							人件費計(千円)(B)				167		167	
	最終予算額		17,061 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			17,228		17,228	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	改良工事により本路線利用者の安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	裏土地線舗装事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03845	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 3 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、国道179号と町道人形峠線の連絡道としても利用されていることから、舗装をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道裏土地線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績	72 72	72 72	72 72		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績	2,188 2,188	2,188 2,188	2,188 2,188		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 森林施業の利用向上を図る	ア 舗装延長	m	目標 実績 達成率	220 200 90.9%	260 340 130.8%	500 500 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%		
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		裏土地線舗装事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	1,400	3,355	5,221		1,866	県支出金	1,734	3,355	5,221			1,866		
町債	3,400	8,578	11,200		2,622	町債	4,200	7,600	11,200			3,600		
その他特財						その他特財								
一般財源	1,192		939		939	一般財源	28	972	926			-46		
合計	5,992	11,933	17,360		5,427	合計(A)	5,962	11,927	17,347			5,420		
財源名称	小規模林道整備事業費補助金					従事正職員人数	1	1	1					
	辺地対策事業債					延べ業務事務時間	50	50	50					
						人件費計(千円)(B)	171	168	167			-1		
	最終予算額		17,360 千円	予算執行率	99.9%	トータルコスト(A+B)	6,133	12,095	17,514			5,419		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	舗装工事により本路線利用者の安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中林線改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03817	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、中林の滝への連絡道としても利用されていることから、排水施設の設置をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道中林線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績			72 72		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績			1,800 1,800		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 森林施業の利用向上を図る	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率			119 119 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
イ 補助事務	イ 補助事務	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		08 02 中事業 中林線改良事業費					事業番号 03817
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		予算上の事業名					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金			1,597			1,597	県支出金			1,597			1,597	
町債			4,400			4,400	町債			4,400			4,400	
その他特財							その他特財							
一般財源			251			251	一般財源			251			251	
合計			6,248			6,248	合計(A)			6,248			6,248	
財源名称	小規模林道整備事業補助金						従事正職員人数				1		1	
	過疎対策事業債						延べ業務事務時間				50		50	
							人件費計(千円)(B)				167		167	
	最終予算額	6,248 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)				6,415		6,415	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	排水施設工事により本路線利用者の安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	泉山線開設事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03860	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	県営林道開設事業に係る地元調整、用地提供をおこなうもの。 業務 ①地元調整 ②立木の伐採 ③開設予定地の分筆 ④所有権移転登記 ⑤その他(泉山線進捗率向上検討会)	平成10年度以前から、泉山周辺地域の森林施業を充実するため、広域的な林道整備として計画されたもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道泉山線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績	1,266 1,266	1,266 1,266	1,266 1,266	1,266	1,266
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 森林施業の利用向上	ア 開設延長	m	目標 実績 達成率	13,600 10,894 80.1%	13,600 12,436 91.4%	13,819 13,819 100.0%	13,819	13,819
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 立木伐採	ア 立木伐採	回	目標 実績 達成率	2 10 500.0%	2 5 250.0%	2 2 100.0%	2	2
イ 地元協議	イ 地元協議	回	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6	6

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		泉山線開設事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	16,617	5,904	3,645		-2,259	一般財源	16,244	5,887	3,642			-2,245		
合計	16,617	5,904	3,645		-2,259	合計(A)	16,244	5,887	3,642			-2,245		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1					
	延べ業務事務時間						100	100	80			-20		
	人件費計(千円)(B)						342	336	267			-69		
	最終予算額	3,645 千円	予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)	16,586	6,223	3,909			-2,314		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	泉山周辺地域の森林施業の充実が確保された
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	治山林道管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03895	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名		担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	補助対象とならない林道の小規模な修繕及び業務委託等のほか、地元団体への原材料支給、幹線林道の除草業務をおこなうもの。 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 原材料支給・重機借上 ①要望とりまとめ ②審査 ③決定通知 ④実施 ⑤竣工検査 除草業務 ①設計積算 ②業務発注 ③業務管理 ③完了検査	林道の維持管理を実施し、林業経営の安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 管内の林道	ア 林道総路線数	路線	見込 実績	129 129	129 129	129 129	129	129
イ 地元団体	イ 団体数	団体	見込 実績	129 129	129 129	129 129	129	129

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道を安全に通行できるようにする	ア 業務委託・修繕工事 要望等件数	件	目標 実績 達成率	26 26 100.0%	10 10 100.0%	21 21 100.0%	10	-
イ	イ 重機借上・原材料支給 要望件数	件	目標 実績 達成率	15 28 186.7%	18 20 111.1%	15 7 46.7%	15	-

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業務・工事の発注・管理	ア 業務・工事を発注・施工管理	件	目標 実績 達成率	34 34 100.0%	30 30 100.0%	21 21 100.0%	10	-
イ 重機借上・原材料支給	イ 重機借上 件数	件	目標 実績 達成率	15 15 100.0%	11 11 100.0%	7 7 100.0%	8	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		18	01	治山林道管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	26,096	42,296	30,120			-12,176	一般財源	24,771	40,112	26,053				-14,059		
合計	26,096	42,296	30,120			-12,176	合計(A)	24,771	40,112	26,053				-14,059		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1						
							延べ業務事務時間	120	120	120						
							人件費計(千円)(B)	411	403	400				-3		
	最終予算額	30,120 千円		予算執行率	86.4%		トータルコスト(A+B)	25,182	40,515	26,453				-14,062		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	林道の維持管理を行い、林業経営の安定が図れた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	作業道細田線開設事業	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
03936	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 2 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地元要望により、森林の整備及び森林環境保全のため、過疎対策事業で作業道細田線の舗装工事をおこなうもの。 令和5年度 舗装工事 L=225m W=3.0m 事務 ①起債申請 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査	生活道路を兼ねた森林施業道の開設について、平成30年度に細田地区より要望があったもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 作業道細田線	ア 利用戸数	戸	見込	17	17	17		
			実績	17	17	17		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 作業道を完成させる	ア 事業進捗率(事業費率)	%	目標	5	84	100		
			実績	5	84	100		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業務管理・施工管理	ア 業務管理・施工管理	回	目標	5	20	5		
			実績	5	23	6		
			達成率	100.0%	115.0%	120.0%		
イ 地元調整	イ 地元調整	回	目標	10	3	3		
			実績	15	4	3		
			達成率	150.0%	133.3%	100.0%		
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 24	中事業 07	予算上の事業名					事業番号 03936
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費				作業道細田線開設事業					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債		43,944	7,700			-36,244	町債		30,700	7,700			-23,000			
その他特財							その他特財									
一般財源	7,115		497			497	一般財源	1,027	8,678	481			-8,197			
合計	7,115	43,944	8,197			-35,747	合計(A)	1,027	39,378	8,181			-31,197			
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数		1	1	1					
							延べ業務事務時間		120	160	60		-100			
							人件費計(千円)(B)		411	538	200		-338			
	最終予算額		8,197 千円	予算執行率		99.8%	トータルコスト(A+B)		1,438	39,916	8,381			-31,535		

1枚目

事業番号	03936	事務事業名	作業道細田線開設事業	所管課名	建設課
------	-------	-------	------------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業就業者の減少、高齢化等が悪循環をなして進行している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地元区長や地元地権者からの要望がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 事業実施することで、作業道の安全な通行が図られ、森林整備及び環境保全につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 整備することで、環境保全につながる。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 整備することで、利用者の安全な通行が図られる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 要望に対して概ね対応できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独で全ての管理を行うことは困難である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善する余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 林道に準じた規格を満たす必要がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 受益地の所有者に最も有効であるが、作業道の維持によって行われる森林施業は、森林保全につながり水源かん養等の広い範囲で便益がある。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林施業には欠かせない道路であり、要望に応じて適正に整備していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 事業完了を迎え、今後は適切な維持管理を行う必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									



事業番号	事務事業名	土木総務経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04651	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・道路、河川等の整備を促進する各期成会への参画事業。 ・会議出席、要望活動(国土交通省・県選出国會議員・岡山県)負担金支出事務。	土木事業全般を管理するための一般事務費

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国、県、町道	ア 路線延長	km	見込 実績	625 625	625 625	625 625	625	625
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国県道を最適化に改良・維持	ア 県による適切対応	式	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 要望活動(岡山県、国土交通省、国會議員)	ア 陳情、要望活動回数	回	目標 実績 達成率	15 15 100.0%	15 15 100.0%	15 15 100.0%	15	15 100.0%
イ 負担金支出事務	イ 総会、幹事会への出席回数	回	目標 実績 達成率	18 18 100.0%	18 18 100.0%	18 18 100.0%	18	18 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 01 土木管理費		目 01 土木総務費		予算上の事業名 土木総務経常管理費					事業番号 04651
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財			4	4	4	4	その他特財			4	4	4	4	
一般財源	1,215	1,039	952	942	942	-87	一般財源	902	889	929	942	942	40	
合計	1,215	1,039	956	946	946	-83	合計(A)	902	889	933	946	946	44	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	15	15	15	15	15		
							人件費計(千円)(B)	51	50	50	50	50	-0	
	最終予算額		956 千円		予算執行率	97.5%		トータルコスト(A+B)	953	939	983	996	996	44

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	期成会等への参加及び負担金であり、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	土木総務臨時管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04652	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 5 年度~ 6 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	砂防事業に係る砂防指定地申請書の作成業務委託。(貫塔川及び家奥川)	河川及び溪流の流域に山腹崩壊や溪岸浸食が起きており、土石流が発生する可能性があるため、砂防指定地として事業化する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請業務	ア 砂防指定地	箇所	見込 実績			1 0	1	
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 砂防指定地を指定	ア 砂防指定地を指定	箇所	目標 実績 達成率			1 0 0.0%	1	
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請書作成業務の発注	ア 発注件数	件数	目標 実績 達成率			1 0 0.0%	1	
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 01 土木管理費		目 01 土木総務費		予算上の事業名 土木総務臨時管理費					事業番号 04652
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源				1,300			一般財源				1,300			
合計				1,300			合計(A)				1,300			0
財源名称							従事正職員人数				2			
							延べ業務事務時間				20			
							人件費計(千円)(B)				67			0
	最終予算額	0 千円		予算執行率			トータルコスト(A+B)				1,367			0

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	本年度発注する予定であったが、令和5年台風7号豪雨による災害対応のため、業務の執行ができなかった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路橋梁総務経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04671	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	各年度の町道の認定、廃止、区域の変更データを更新し、普通交付税等の統計資料を作成し、適切な道路管理の資料として利用する。	道路法に基づき行政財産として、適切な管理を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道の適切な台帳整備	ア 修正路線数	件	目標 実績 達成率	8 12 150.0%	10 7 70.0%	10 0 0.0%	10	10 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道台帳修正業務	ア 修正業務の発注	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ 町道路線網図作成業務	イ 網図作成業務の発注	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 01 道路橋梁総務費		予算上の事業名 道路橋梁総務経常管理費					事業番号 04671	
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財	2,634						-2,634	
一般財源	4,840	3,450	627	3,240	3,240	-2,823	一般財源	2,634		406	3,240	3,240	406		
合計	4,840	3,450	627	3,240	3,240	-2,823	合計(A)	2,634	2,634	406	3,240	3,240	-2,228		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	積算 延べ業務事務時間						10	10	10	10	10				
	人件費計(千円)(B)						34	34	33	33	33		-0		
	最終予算額		627 千円		予算執行率		64.7%		トータルコスト(A+B)		2,668	2,668	439	3,273	3,273

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	道路法に基づくものであり今後も継続する必要があるが、本年度は、令和5年台風7号豪雨による災害対応のため、業務の執行ができなかった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路維持経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04700	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	土木工事の設計書作成に伴う、積算システム及び設計図書作成システムの利用委託料と保守管理料	土木積算・設計業務の適切及び迅速化を図るため毎年度契約

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア システムを利用する職員	ア 利用者数	人	見込 実績	5 5	5 5	5 5	5	5
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 土木事業設計書の的確性・迅速性の向上	ア システムの利用数	件	目標 実績 達成率	35 30 85.7%	35 38 108.6%	35 137 391.4%	35	35 391.4%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約事務	ア 契約件数	件	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 08 土木費		02 項 02 道路橋梁費		02 目 02 道路維持費		01 01 予算上の事業名 道路維持経常管理費					04700 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	1,210	1,203	1,206	1,249	1,249	3	一般財源	1,186	1,187	1,202	1,249	1,249	15	
合計	1,210	1,203	1,206	1,249	1,249	3	合計(A)	1,186	1,187	1,202	1,249	1,249	15	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	4	4	4	4	4		
							人件費計(千円)(B)	14	13	13	13	13	-0	
	最終予算額	1,206 千円		予算執行率	99.6%		トータルコスト(A+B)	1,200	1,200	1,215	1,262	1,262	15	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	積算に必要なシステムであり、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路維持補修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04705	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	道路の陥没等においては、建設課職員の直営作業により早急な補修を行っている。 緊急性の高い請負工事については、随意契約により発注し早期対応による安全性の確保に努めている。 また、指定路線の町道において年1回の除草業務委託を発注している。	車両及び歩行者の通行を安全性・安心性かつ快適さを確保するため。 町民を始め、区長や関係機関からの要望・協議などにより対応しています。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 事故件数	件	目標 実績 達成率	0 1 -	0 0 -	0 0 -	0	0
イ 改善要望に対応する	イ 対応率	%	目標 実績 達成率	100 70 70.0%	100 70 70.0%	100 70 70.0%	100	100

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 道路のパトロール	ア パトロールに回数	式	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ 補修工事の発注数	イ 補修箇所	箇所	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	125 125 100.0%	130 155 119.2%	130	130

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 02 道路維持費		予算上の事業名 道路維持補修事業費					事業番号 04705
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	96,845	133,179	125,903	88,399	88,399	-7,276	一般財源	84,851	132,306	115,457	88,399	88,399	-16,849	
合計	96,845	133,179	125,903	88,399	88,399	-7,276	合計(A)	84,851	132,306	115,457	88,399	88,399	-16,849	
財源名称	従事正職員人数						10	10	10	10	10			
	延べ業務事務時間						2,800	2,800	2,800	2,800	2,800			
	人件費計(千円)(B)						9,579	9,414	9,338	9,338	9,338	-76		
	最終予算額 125,903 千円 予算執行率 91.7%						トータルコスト(A+B)	94,430	141,720	124,795	97,737	97,737	-16,925	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	道路の修繕費であり、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	除排雪事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04710	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	毎年12月1日から3月31日の4ヶ月間を除雪作業期間と定め、鏡野町内の国、県、町道の道路除雪業務を全て委託業務により実施する。	鏡野町内では冬期間において降雪があり、除雪により安全な交通網の確保が必要であるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ 国県道総延長	km	見込 実績	165 165	165 165	165 165	165	165
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 通行不能件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 現場監督、指示	ア 除雪日数	日	目標 実績 達成率	50 71 142.0%	50 99 198.0%	50 88 176.0%	80	80
イ	イ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		除排雪事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金	1,000	15,000				-15,000		
県支出金	60,000	150,000	87,000	90,000	-63,000	県支出金	163,128	137,279	123,646	90,000	90,000	-13,633		
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	157,645	98,612	34,490	9,951	9,951	-64,122	一般財源	45,825	40,438	7,569	9,951	9,951	-32,869	
合計	217,645	248,612	121,490	99,951	99,951	-127,122	合計(A)	209,953	192,717	131,215	99,951	99,951	-61,502	
財源名称	国県道除雪委託金					従事正職員人数	5	5	5	5	5			
	臨時道路除雪事業費補助金					延べ業務事務時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000			
						人件費計(千円)(B)	6,842	6,724	6,670	6,670	6,670	-54		
	最終予算額	121,490 千円	予算執行率	108.0%	トータルコスト(A+B)		216,795	199,441	137,885	106,621	106,621	-61,556		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	除雪作業及び凍結防止剤散布作業を行う費用であり、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	除雪車整備事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04714	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	○老朽化した除排雪機械の更新及び新規導入を行う事業 ○更新・増強の要望→申請手続き→設計・仕様書の作成(市場価格の調査) → 入札・契約→変更申請手続き→中間・納入検査→納車→支払い・完了実績報告	除排雪機械の経年の老朽化に伴い、出力低下等の原因で作業遅延が発生することがないよう、老朽化の除雪機械の更新・増強を実施する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪機械	ア 除雪機械購入台数	台	見込 実績	0 0	3 0	5 1	3	3
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪作業の効率化、安全性の向上	ア 降雪による不定期な通行止め数	回	目標 実績 達成率		0 0 -	0 0 -	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入札・契約・検査・支払い	ア 支払い回数	回	目標 実績 達成率	0 0 -	3 0 0.0%	5 1 20.0%	3	-
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		02 大事業		05 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		03		05		除雪車整備事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比						
国庫支出金						国庫支出金												
県支出金						県支出金												
町債			71,300	49,400	49,400	71,300	町債		56,000	49,400	49,400	56,000						
その他特財						その他特財												
一般財源			4,370	2,600	2,600	4,370	一般財源		1,200	2,600	2,600	1,200						
合計			75,670	52,000	52,000	75,670	合計(A)		57,200	52,000	52,000	57,200						
財源名称	辺地対策事業債					従事正職員人数			2	2	2	2						
	緊急自然災害防止対策事業債					延べ業務事務時間			50	50	50	50						
						人件費計(千円)(B)			168	167	167	167	-1					
	最終予算額		75,670 千円		予算執行率		75.5%		トータルコスト(A+B)		168	57,367	52,167	52,167	57,199			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	社会情勢により半導体などの部品調達に時間を要したため、納入計画3台の内2台が令和6年度となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	除雪車整備事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04714-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	○老朽化した除排雪機械の更新及び新規導入を行う事業 ○更新・増強の要望→申請手続き→設計・仕様書の作成(市場価格の調査) → 入札・契約→変更申請手続き→中間・納入検査→納車→支払い・完了実績報告	除排雪機械の経年の老朽化に伴い、出力低下等の原因で作業遅延が発生することがないよう、老朽化の除雪機械の更新・増強を実施する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪機械	→	ア 除雪機械購入台数	台	見込 実績			2 2		
イ	→	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪作業の効率化、安全性の向上	→	ア 降雪による不定期な通行止め数	日	目標 実績 達成率			0 0 -		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入札・契約・検査・支払い	→	ア 支払い回数	回	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		02 大事業		02 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		03		05		除雪車整備事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比						
国庫支出金						国庫支出金												
県支出金						県支出金												
町債			45,100		45,100	町債			44,000			44,000						
その他特財						その他特財												
一般財源			1,430		1,430	一般財源			1,430			1,430						
合計			46,530		46,530	合計(A)			45,430			45,430						
財源名称	辺地対策事業債					従事正職員人数				2		2						
						延べ業務事務時間				50		50						
						人件費計(千円)(B)				167		167						
	最終予算額		46,530 千円		予算執行率	97.6%		トータルコスト(A+B)				45,597		45,597				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	社会情勢により半導体などの部品調達に時間を要したため、納入が令和5年度になった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	



事業番号	事務事業名	社会資本統合整備交付金事業	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04715	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	毎年12月1日から3月31日の4ヶ月間を除雪作業期間と定め、鏡野町内の雪寒指定路線の町道の道路除雪業務を全て委託業務により実施する。	鏡野町内では冬期間において降雪があり、除雪により安全な交通網の確保が必要であるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道	ア 雪寒指定路線延長	km	見込 実績	113 113	113 113	113 113	113	113
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 通行不能件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 現場監督、指示	ア 除雪日数	日	目標 実績 達成率	50 71 142.0%	50 99 198.0%	50 88 176.0%	50	50
イ	イ	日	目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		社会資本統合整備交付金事業					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金	2,001	834	2,131	6,600	6,600	1,297	国庫支出金	1,686	834	1,157	6,600	6,600	323	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	1,299	466	1,069	3,300	3,300	603	一般財源	1,225	441	2,028	3,300	3,300	1,587	
合計	3,300	1,300	3,200	9,900	9,900	1,900	合計(A)	2,911	1,275	3,185	9,900	9,900	1,910	
財源名称	社会資本統合整備交付金						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	50	50	50	50	50		
							人件費計(千円)(B)	171	168	167	167	167	-1	
	最終予算額	3,200 千円		予算執行率	99.5%		トータルコスト(A+B)	3,082	1,443	3,352	10,067	10,067	1,909	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	除雪作業及び凍結防止剤散布作業行方費用であり、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路河川愛護費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04720	政策名	4	係名	土木係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	48	根拠法令等	鏡野町道路愛護会規程(平成17年3月1日告示第49号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	道路愛護を目的とし、各地区で愛護会を組織する。 ①毎年春秋2期に補修(道づくり) ②地区内にある里道の補修 ③道路愛護思想の普及 ④道路の災害箇所等を町に報告する ⑤道路損傷行為などの通報 上記作業について実績報告のあった愛護会に対し予算の範囲内で報奨金を	平成17年の町村合併を期に、町全体で道路・河川愛護活動を啓蒙し、地区単位で美化・補修に努め、住みよい環境を整備する目的で開始。地域の要望により令和元年度から補助金額を1戸あたり500円→1000円に増額している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 全自治会内の町道	ア 町道総延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内全ての自治会の参加	ア 事業実施地区数	地区	目標 実績 達成率	94 94 100.0%	94 94 100.0%	94 94 100.0%	94	94
イ 町道の適切な管理	イ 事業に参加した戸数	戸	目標 実績 達成率	4,500 4,471 99.4%	4,500 4,425 98.3%	4,500 4,377 97.3%	4,500	4,500
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 受付・支払い	ア 受付・支払回数	回	目標 実績 達成率	188 188 100.0%	188 188 100.0%	188 188 100.0%	188	188
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		02 大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		04 01		道路河川愛護費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	4,500	4,500	5,307	5,430	5,430	807	一般財源	4,471	4,425	5,307	5,430	5,430	882			
合計	4,500	4,500	5,307	5,430	5,430	807	合計(A)	4,471	4,425	5,307	5,430	5,430	882			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間						50	30	30	30	30					
	人件費計(千円)(B)						171	101	100	100	100		-1			
	最終予算額		5,307 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		4,642	4,526	5,407	5,530	5,530	881

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和5年度から戸数による補助に加えて地区経費として一律10,000円を支給した。地区住民による道路河川の美化・補修を目的としているため、継続して事業を行う必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	町道靴掛線改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04735	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	大林 健人
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	路肩修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=16m W=2.65~2.8m	近年の豪雨等の自然災害により路肩崩壊が発生し安全な走行ができないことから路肩修繕、舗装修繕等の緊急的な対策が必要となってくる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道靴掛線	→	ア 改良延長	m	見込 実績			16.0 16.0		
イ	→	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	→	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標 実績 達成率			61.8 60.9 98.5		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	→	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0		
イ 工事監督	→	イ 現場での監督日数	回	目標 実績 達成率			6 6 100.0		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 08 土木費		02 項 02 道路橋梁費		02 目 02 道路維持費		07 01 予算上の事業名 町道靴掛線改修事業費					04735 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			6,500			6,500	町債			6,200			6,200	
その他特財							その他特財							
一般財源			760			760	一般財源			1,060			1,060	
合計			7,260			7,260	合計(A)			7,260			7,260	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数				1		1	
							延べ業務事務時間				100		100	
							人件費計(千円)(B)				334		334	
	最終予算額	7,260 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)				7,594		7,594	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	単独改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己	
04770	政策名	4	快速な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	48	道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	道路は町民の生活を支える基盤であり、安全で快適な暮らしを確保するため、道路管理者のパトロールや地区要望等により危険箇所を把握し、緊急性・必要性の高い箇所より道路整備を図る。 令和5年度 単独改良工事 2路線 事務概要等 ①設計 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査	高度成長時代の車社会到来に伴う次期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道	ア 路線数	路線	見込 実績	833 833	833 833	833 833	833	833
イ	イ 総延長	km	見込 実績	466 466	466 466	466 466	466	466
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	%	目標 実績 達成率	61.6 62.6 101.6%	61.7 61.8 100.2%	61.8 60.9 98.5%	61.9	62.0 98.2%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 改良工事	ア 改良工事件数	件	目標 実績 達成率	4 4 100.0%	4 6 150.0%	4 2 50.0%	3	4 50.0%
イ 施工管理	イ 施工管理回数	回	目標 実績 達成率	20 20 100.0%	20 30 150.0%	20 10 50.0%	15	20 50.0%
ウ 地元調整	ウ 地元調整回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 18 150.0%	12 6 50.0%	9	12 50.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		大事業 中事業		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		03 01		単独改良事業費			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債	11,300	3,500				-3,500	町債	11,300	3,500				-3,500	
その他特財							その他特財							
一般財源	16,809	23,006	4,224	18,300	18,300	-18,782	一般財源	7,696	19,802	2,893	18,300	18,300	-16,909	
合計	28,109	26,506	4,224	18,300	18,300	-22,282	合計(A)	18,996	23,302	2,893	18,300	18,300	-20,409	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数	3	3	2	3	3	-1	
							延べ業務事務時間	120	180	90	110	120	-90	
							人件費計(千円)(B)	411	605	300	367	400	-305	
	最終予算額		4,224 千円	予算執行率	68.4%	トータルコスト(A+B)		19,407	23,907	3,193	18,667	18,700	-20,714	

1枚目

事業番号	04770	事務事業名	単独改良事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	---------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
各家庭における自家用車の保有台数増加に伴い、道路構造の改良及び修繕が非常に増大している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
財源の模索で、単独費の削減に努力している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地区及び利害関係者から道路改良についての要望が多数寄せられており、この事業により非常に喜ばれている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町道であり、公共性があるため妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 道路改良することで安全な通行が確保される。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 特になし。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道改良により、通行環境は以前により大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 特になし		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし																									

事業番号	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04837-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R5 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	真加部地区及び宗枝地区の通学児童及び歩行者の安全を確保するため、歩道L=850mの新設工事を行う事業である。 令和5年度【繰越】歩道新設 L=509m W=5.0m(歩道幅員1.5m)	本路線は、真加部地区と宗枝地区を繋ぐ生活道路であり通学路にもなっているが、朝夕の通行車両も多く危険である。地区から要望、土地所有者の協力により、歩道整備を令和3年度から3箇年計画で実施する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車両、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込	500	500	500		
			実績	500	500	500		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	m	目標	61.6	61.7	61.8		
			実績	62.6	61.8	60.9		
			達成率	101.6%	100.2%	98.5%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 歩道新設	ア 新設工事延長	m	目標		0	509		
			実績		0	509		
			達成率		-	100.0%		
イ 施工管理	イ 施工管理回数	回	目標		5	50		
			実績		5	50		
			達成率		100.0%	100.0%		
ウ 地元調整	ウ 地元調整回数	回	目標		4	10		
			実績		4	10		
			達成率		100.0%	100.0%		



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		大 06		中 27		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費						町道古川小座線歩道新設事業費			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債		700	17,900			17,200	町債		700	17,900			17,200			
その他特財							その他特財									
一般財源		13	5,000			4,987	一般財源		13	4,980			4,967			
合計		713	22,900			22,187	合計(A)		713	22,880			22,167			
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数			2	2					
							延べ業務事務時間			30	200			170		
							人件費計(千円)(B)			101	667			566		
	最終予算額		22,900 千円	予算執行率		99.9%	トータルコスト(A+B)			814	23,547			22,733		

1枚目

事業番号	04837-0	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課
------	---------	-------	----------------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
歩道設置により、今後利用者のスムーズな通行、安全が確保される。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
当該現場に適した工法、経済性等の検討を行い実施する。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
現在に至るまで、多大の危険及び不便を抱えていた利用者が、歩道設置事業により改善できる事を大いに期待しているとの意見が多数寄せられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町道であり、公共性があるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 歩道を新設することで歩行者の安全な通行が確保される。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 特に無し。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。	

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での道路改良により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							

事業番号	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04837	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R5 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	真加部地区及び宗枝地区の通学児童及び歩行者の安全を確保するため、歩道L=850mの新設工事を行う事業である。 令和5年度 歩道新設 L=255m W=5.0m(歩道幅員1.5m)	本路線は、真加部地区と宗枝地区を繋ぐ生活道路であり通学路にもなっているが、朝夕の通行車両も多く危険である。地区から要望、土地所有者の協力により、歩道整備を令和3年度から3箇年計画で実施する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車両、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込	500	500	500		
			実績	500	500	500		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	m	目標	61.6	61.7	61.8		
			実績	62.6	61.8	60.9		
			達成率	101.6%	100.2%	98.5%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 歩道新設	ア 新設工事延長	m	目標	86	509	255		
			実績	86	0	255		
			達成率	100.0%	0.0%	100.0%		
イ 施工管理	イ 施工管理回数	回	目標	10	30	40		
			実績	10	30	40		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
ウ 地元調整	ウ 地元調整回数	回	目標	10	10	10		
			実績	10	10	10		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		大 06		中 27		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費						町道古川小座線歩道新設事業費			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債	28,000	30,000	45,000			15,000	町債	28,000	12,100	45,000			32,900			
その他特財							その他特財									
一般財源	3,979	6,500	7,600			1,100	一般財源	509	1,478	4,555			3,077			
合計	31,979	36,500	52,600			16,100	合計(A)	28,509	13,578	49,555			35,977			
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数		2	2	2					
							延べ業務事務時間		100	200	250			50		
							人件費計(千円)(B)		342	672	834			161		
	最終予算額		52,600 千円		予算執行率		94.2%		トータルコスト(A+B)		28,851	14,250	50,389	36,138		



事業番号	04837	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	----------------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
歩道設置により、今後利用者のスムーズな通行、安全が確保される。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
当該現場に適した工法、経済性等の検討を行い実施する。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
現在に至るまで、多大の危険及び不便を抱えていた利用者が、歩道設置事業により改善できる事を大いに期待しているとの意見が多数寄せられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町道であり、公共性があるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 歩道を新設することで歩行者の安全な通行が確保される。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 特に無し。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。	

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での道路改良により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																						

事業番号	事務事業名		町道単独舗装事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04915	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	48	道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	道路は町民の生活を支える基盤であり、安全で快適な暮らしを確保するため、道路管理者のパトロールや地区要望等により危険箇所を把握し、緊急性・必要性の高い箇所より道路整備を図る。 令和5年度 単独舗装工事 2路線 事務概要等 ①設計 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査	高度成長時代の車社会到来に伴う時期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町道	→	ア	路線	見込	833	833	833	833	833
					実績	833	833	833		
イ		→	イ	km	見込	466	466	466	466	466
					実績	466	466	466		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	→	ア	%	目標	61.6	61.7	61.8	61.9	62.0
					実績	62.6	61.8	60.9		
					達成率	101.6%	100.2%	98.5%		98.2%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	舗装工事	→	ア	件	目標	15	15	6	4	5
					実績	8	16	7		
					達成率	53.3%	106.7%	116.7%		140.0%
イ	施工管理	→	イ	回	目標	75	75	30	20	25
					実績	40	80	35		
					達成率	53.3%	106.7%	116.7%		140.0%
ウ	地元調整	→	ウ	回	目標	30	30	12	8	10
					実績	16	32	14		
					達成率	53.3%	106.7%	116.7%		140.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		大 12		中 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		町道単独舗装事業費		町道単独舗装事業費		04915		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債	5,500	6,000				-6,000	町債	5,000	6,000				-6,000		
その他特財							その他特財								
一般財源	7,500	9,500	11,628	10,000	10,000	2,128	一般財源	2,407	8,896	9,849	10,000	10,000	953		
合計	13,000	15,500	11,628	10,000	10,000	-3,872	合計(A)	7,407	14,896	9,849	10,000	10,000	-5,047		
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数		3	3	3	3	3		
							延べ業務事務時間		110	220	100	60	70	-120	
							人件費計(千円)(B)		376	740	334	200	233	-406	
	最終予算額		11,628 千円	予算執行率		84.7%	トータルコスト(A+B)		7,783	15,636	10,183	10,200	10,233	-5,453	

1枚目

事業番号	04915	事務事業名	町道単独舗装事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
舗装整備から年数が経過したため、経年劣化により路面の状態が悪化し、車両等の通行に支障を来しつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
路面の状況を把握し、優先順位を決め修繕の実施を行う。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地区及び利害関係者から道路舗装についての要望が多く寄せられており、この事業により路面の状況が改善され、安全な交通の確保ができていたとの意見が多数寄せられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町道であり、公共性があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 舗装修繕することで安全な通行が確保されるため適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 特になし。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能となっているため、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道の舗装修繕により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 特になし																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
特になし																							

事業番号	事務事業名	町道富東谷線改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04950	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R7 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	側溝・路肩・舗装修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=77m W=5.0m 1年目 測量設計 2年目 用地補償・路肩修繕 3年目 側溝修繕・舗装修繕	本路線は県道湯原奥津線と富東谷地区を繋ぐ住民の生活道路のひとつである。 近年の豪雨等により路肩崩壊や浸水被害が発生する可能性が非常に高い状態であるため、側溝修繕、路肩修繕、舗装修繕等の緊急的な対策が必要となってくる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道富東谷線	ア 改良延長	m	見込 実績			77.0 77.0	77.0	77.0
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じている町民の割合	%	目標 実績 達成率			61.8 60.9 98.5%	61.9	62.0 98.2%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			30 30 100.0%	50	50 60.0%
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			0 0 -	50	50 0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 03 道路新設改良費		予算上の事業名					事業番号
			土木費		道路新設改良費		19 01		町道富東谷線改良事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債		3,400	8,100	8,100	3,400	町 債			3,400	8,100	8,100	3,400		
その他特財						その他特財								
一般財源		1,300			1,300	一般財源			98			98		
合計		4,700	8,100	8,100	4,700	合計(A)			3,498	8,100	8,100	3,498		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数			1	1	1	1		
						延べ業務事務時間			60	100	100	60		
						人件費計(千円)(B)			200	334	334	200		
	最終予算額	4,700 千円	予算執行率	74.4%	トータルコスト(A+B)			3,698	8,434	8,434	3,698			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	来年度からの着工に向けて、費用削減等の工法検討を行い設計をまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	町道上の房尾崎線改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04951	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 4 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	法面改良を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=30m W=6. 2m 1年目 測量設計 2年目 法面改良	本路線は国道179号線より町道別所本谷線、塚谷貞永寺線を介し極楽寺へと通ずる路線である。 本箇所はバス等大型車両の通行も頻繁であり、近年法面からの落石等が見られ安全な通行に支障を生じていることから、地元からも改修要望が上がっている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道上の房尾崎線	ア 改良延長	m	見込 実績		30.0 30.0	30.0 30.0		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	%	目標 実績 達成率		61.7 61.8 100.2%	61.8 60.9 98.5%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率		5 5 100.0%	5 5 100.0%		
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率		0 0 -	10 10 100.0%		



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		町道上の房尾崎線改良事業費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債	3,500	12,600			9,100	町債	3,500	12,600				9,100		
その他特財						その他特財								
一般財源	94	17			-77	一般財源	94	17				-77		
合計	3,594	12,617			9,023	合計(A)	3,594	12,617				9,023		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数	1	1						
						延べ業務事務時間	30	60				30		
						人件費計(千円)(B)	101	200				99		
	最終予算額	12,617 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	3,695	12,817				9,122		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	町道中林線改良事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04952	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 5 年度~ 6 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	法面改良・路肩舗装修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=36.6m W=5.0m 1年目 測量設計 2年目 用地補償・法面改良	本路線は県道加茂奥津線と大町地区を繋ぐ住民の生活道路のひとつである。近年の豪雨等により法面からの落石が発生しており、法面改良等の緊急的な対策が必要となっている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道中林線	ア 改良延長	m	見込 実績			36.6 36.6	36.6	
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	%	目標 実績 達成率			61.8 60.9 98.5%	61.9	
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			5 5 100.0%	5	
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			0 0 -	10	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 03 道路新設改良費		予算上の事業名 町道中林線改良事業費					事業番号	
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債			5,700	25,400		5,700	町債			5,700	25,400		5,700		
その他特財							その他特財								
一般財源			750	50		750	一般財源			282	50		282		
合計			6,450	25,450		6,450	合計(A)			5,982	25,450		5,982		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数				1	1		1	
							延べ業務事務時間				30	60		30	
							人件費計(千円)(B)				100	200		100	
	最終予算額		6,450 千円		予算執行率		92.7%		トータルコスト(A+B)		6,082		25,650		6,082

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	来年度からの着工に向けて、費用削減等の工法検討を行い設計をまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	町道沢田原線舗装事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04953	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	舗装修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=270m W=7.5m	本路線は県道西一宮中北上線と津山市上田邑地区を繋ぎ鏡野町を東西に横断する作州街道の一部である。 本箇所は大型車両の通行も多く、老朽化により路面のひび割れや剥離、轍等が見られ安全な通行に支障を生じており、地元からも改修要望が上がっている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道沢田原線	ア 舗装延長	m	見込 実績			270.0 270.0		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標 実績 達成率			61.8 60.9 98.5		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			20 20 100.0%		
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			30 30 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		町道沢田原線舗装事業費					
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			33,100			33,100	町債			33,100			33,100	
その他特財							その他特財							
一般財源			32			32	一般財源			32			32	
合計			33,132			33,132	合計(A)			33,132			33,132	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数				1		1	
							延べ業務事務時間				60		60	
							人件費計(千円)(B)				200		200	
	最終予算額		33,132 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			33,332			33,332

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	町道赤和瀬2号線舗装事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
04954	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	舗装修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=1,010m W=6.0m	本路線は国道482号と赤和瀬地区を繋ぐ住民の生活道路であるとともに町の観光資源である高清水トレイルへのアクセス道路である。観光バス等の通行も多く、老朽化により路面のひび割れや轍等が見られ安全な通行に支障が生じており、地元からも改修要望が上がっている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道赤和瀬2号線	ア 舗装延長	m	見込 実績			1,010.0 1,010.0		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	%	目標 実績 達成率			61.8 60.9 98.5%		
イ	イ		目標 実績 達成率			業者・地元との協議		

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			5 5 100.0%		
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			10 10 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		町道赤和瀬2号線舗装事業費					
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			27,200			27,200	町債			27,200			27,200	
その他特財							その他特財							
一般財源			1,900			1,900	一般財源			1,895			1,895	
合計			29,100			29,100	合計(A)			29,095			29,095	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			60			60	
							人件費計(千円)(B)			200			200	
	最終予算額	29,100 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)			29,295			29,295	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	



事業番号	事務事業名	補助橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05061	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	本事業は、町道の橋梁441橋を鏡野町長寿命化計画に基づき、5年に1回の頻度で点検を行う。 点検数99橋	平成26年に道路法施行規則の一部を改正する省令等に伴い、橋梁の健全性の診断を行うこととなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生活道路の利用者	ア 人口(住民基本台帳)	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ 町道橋	イ 橋梁数	橋	見込	441	441	441	441	441
			実績	441	441	441		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じてる町民の割合	m	目標	61.6	61.7	61.8	61.9	62.0
			実績	62.6	61.8	60.9		
			達成率	101.6%	100.2%	98.5%		98.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 橋梁点検	ア 橋梁点検数	橋	目標	81	69	99	79	100
			実績	81	69	99		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		99.0%
イ 業務管理	イ 業務管理回数		目標	30	5	5	5	5
			実績	30	5	5		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ 地元調整	ウ 地元調整回数		目標	15	5	5	5	5
			実績	15	5	5		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		03	02	補助橋梁整備事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	05061			
国庫支出金	62,731	19,904	11,495	8,577	8,577	-8,409	国庫支出金	62,731	18,111	6,929	8,577	12,100	-11,182			
県支出金							県支出金									
町債	38,700	5,000				-5,000	町債	38,700	5,000				-5,000			
その他特財							その他特財									
一般財源	30,619	28,046	8,205	8,950	8,950	-19,841	一般財源	26,644	27,302	10,655	8,950	7,900	-16,647			
合計	132,050	52,950	19,700	17,527	17,527	-33,250	合計(A)	128,075	50,413	17,584	17,527	20,000	-32,829			
財源名称	道路メンテナンス補助金					従事正職員人数		2	2	2	2	2				
						延べ業務事務時間		150	50	50	50	50				
						人件費計(千円)(B)		513	168	167	167	167	-1			
	最終予算額		19,700 千円	予算執行率	89.2%	トータルコスト(A+B)		128,588	50,581	17,751	17,694	20,167	-32,830			

1枚目

事業番号	05061	事務事業名	補助橋梁整備事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
橋梁の老朽化に伴い車輦等の通行において危険度が増しており、通行に支障が出る恐れがある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
現場に適した工法、経済性の検討を行い、実施した。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町道橋の長寿命化が図られることで、安全な車輦等の通行が期待されている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町道橋であり、公共性があるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 橋梁を修繕することで安全な通行が確保される。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 特に無し。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 町道橋の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町道橋を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道の橋梁修繕により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<b>今後の改革改善案</b> 橋梁長寿命化計画を策定し、計画に沿って定期的に点検及び補修を実施しており、改善計画はない。																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

事業番号	事務事業名	単独橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05062	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁点検を行った結果、補修する必要があると判断された橋梁について町単独事業により補修を行う。	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、修繕事業を実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道橋	ア 橋梁数	橋	見込 実績	441 441	441 441	441 441	441	441
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 健全な状態を維持する	ア 直営点検を行う	橋	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	9 9 100.0%		5 180.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 工事の発注・管理	ア 修繕工事を発注・施工管理	橋	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%		1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 04 橋梁維持費		予算上の事業名 単独橋梁整備事業費					事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債	12,300	7,900				-7,900	町債	4,900	7,900				-7,900	
その他特財							その他特財							
一般財源	11,319	22,511	7,373		5,700	-15,138	一般財源	3,697	1,017	429		5,700	-588	
合計	23,619	30,411	7,373		5,700	-23,038	合計(A)	8,597	8,917	429		5,700	-8,488	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数	1	1	1		1		
							延べ業務事務時間	10	10	10		10		
							人件費計(千円)(B)	34	34	33		33	-0	
	最終予算額		7,373 千円		予算執行率	5.8%		トータルコスト(A+B)	8,631	8,951	462		5,733	-8,488

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	単独橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05062-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁点検を行った結果、補修する必要があると判断された橋梁について町単独事業により補修を実施する。	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、修繕事業を実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道橋	→	ア 橋梁数	橋	見込 実績	441 441	441 441	441 441	441	441
イ	→	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道橋の適切な維持管理	→	ア 橋梁修繕工事発注	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 設計業務	→	ア 設計橋梁数	橋	目標 実績 達成率			2 0 0.0%		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		単独橋梁整備事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債			9,662		9,662	町 債			9,662			9,662		
その他特財						その他特財								
一般財源			11,100		11,100	一般財源			2,265			2,265		
合計			20,762		20,762	合計(A)			11,927			11,927		
財源名称	単独橋梁整備事業費					従事正職員人数			1			1		
	過疎対策事業債					延べ業務事務時間			18			18		
						人件費計(千円)(B)			60			60		
	最終予算額 20,762 千円		予算執行率	57.4%		トータルコスト(A+B)			11,987			11,987		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	国司谷橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05063	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業、辺地対策事業で行う事業。 L=210m W=4.8m 1年目 詳細設計 2年目 修繕工事	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、橋梁点検を行っている。点検の結果、町道国司谷線国司谷橋が緊急的に補修する必要があると判断されたことにより、長寿命化のために修繕工事が急務となった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績			100 100	100	
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率			0 0 -	0	
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			30 30 100.0%	60	
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			0 0 -	60	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		国司谷橋橋梁改修事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		2,206	9,075		2,206	国庫支出金			2,206	9,075		2,206		
県支出金						県支出金								
町債		1,600	5,300		1,600	町債			1,600	5,300		1,600		
その他特財						その他特財								
一般財源		1,678	3,625		1,678	一般財源			1,672	3,625		1,672		
合計		5,484	18,000		5,484	合計(A)			5,478	18,000		5,478		
財源名称	道路メンテナンス事業					従事正職員人数			1	1		1		
	辺地対策事業債					延べ業務事務時間			60	100		60		
						人件費計(千円)(B)			200	334		200		
	最終予算額	5,484 千円	予算執行率	99.8%	トータルコスト(A+B)				5,678	18,334		5,678		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	来年度からの着工に向けて、費用削減等の工法検討を行い設計をまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	仲田橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05065	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業で行う事業。 L=21m W=4.8m 詳細設計	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、橋梁点検を行っている。点検の結果、町道佐根井中道線仲田橋が緊急的に補修する必要があると判断されたことにより、詳細設計が急務となった

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績			50 50		
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率			0 0 -		
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			30 30 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 08 款 土木費		02 項 道路橋梁費		04 目 橋梁維持費		03 06 中事業 予算上の事業名 仲田橋橋梁改修事業費					05065 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金			2,025			2,025	国庫支出金			2,025			2,025	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			10,422			10,422	一般財源			10,416			10,416	
合計			12,447			12,447	合計(A)			12,441			12,441	
財源名称	道路メンテナンス事業						従事正職員人数				1		1	
							延べ業務事務時間				60		60	
							人件費計(千円)(B)				200		200	
	最終予算額		12,447 千円		予算執行率		99.9%		トータルコスト(A+B)				12,641	12,641

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	長寿命化等に向けた適切な設計をとりまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	新橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05067	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業、辺地対策事業で行う事業。 L=47m W=4.1m 1年目 詳細設計 2年目 修繕工事	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、橋梁点検を行っている。点検の結果、町道山戸原線新橋が緊急的に補修する必要があると判断されたことにより、長寿命化のために修繕工事が急務となった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績			100 100	100	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率			0 0 -	0	
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			30 30 100.0%	60	
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			0 0 -	60	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		新橋橋梁改修事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		299	3,025		299	国庫支出金			299	3,025		299		
県支出金						県支出金								
町債			2,000			町債				2,000				
その他特財						その他特財								
一般財源		197	1,475		197	一般財源			196	1,475		196		
合計		496	6,500		496	合計(A)			495	6,500		495		
財源名称	道路メンテナンス事業					従事正職員人数			1	1		1		
	辺地対策事業債					延べ業務事務時間			60	100		60		
						人件費計(千円)(B)			200	334		200		
	最終予算額		496 千円	予算執行率	99.7%	トータルコスト(A+B)			695	6,834		695		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	来年度からの着工に向けて、費用削減等の工法検討を行い設計をまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大渡橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05068	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 4 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業で行う事業。 L=13.7m W=6.2m 1年目 詳細設計 2年目 橋梁補修	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、橋梁点検を行っている。点検の結果、町道鏡野上斉線大渡橋が緊急的に補修が必要であると判断されたことにより、詳細設計が急務となった

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績		50 50	50 50		
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率		0 0 -	0 0 -		
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率		5 5 100.0%	10 10 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		大渡橋橋梁改修事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		1,597	1,700		103	国庫支出金		1,597	1,700			103		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源		1,043	1,290		247	一般財源		1,043	1,278			235		
合計		2,640	2,990		350	合計(A)		2,640	2,978			338		
財源名称	道路メンテナンス事業					従事正職員人数		1	1					
						延べ業務事務時間		30	60			30		
						人件費計(千円)(B)		101	200			99		
	最終予算額		2,990 千円	予算執行率	99.5%	トータルコスト(A+B)		2,741	3,178			437		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	



事業番号	事務事業名	紙屋橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05072	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 4 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業で行う事業。 L=5m W=3.7m 1年目 詳細設計 2年目 橋梁補修	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、橋梁点検を行っている。点検の結果、町道タワ紙屋南渡り線紙屋橋が緊急的に補修する必要があると判断されたことにより、詳細設計が急務となった

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	→	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績		50 50	50 50		
イ	→	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	→	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率		0 0 -	0 0 -		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	→	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率		5 5 100.0%	10 10 100.0%		
イ	→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		紙屋橋橋梁改修事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		1,590	1,700		110	国庫支出金		1,590	1,700			110		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,039	3,240			2,201	一般財源	1,039	3,087				2,048		
合計	2,629	4,940			2,311	合計(A)	2,629	4,787				2,158		
財源名称	道路メンテナンス事業					従事正職員人数		1	1					
						延べ業務事務時間		30	60			30		
						人件費計(千円)(B)		101	200			99		
	最終予算額	4,940 千円	予算執行率	96.9%	トータルコスト(A+B)		2,730	4,987				2,257		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	完成により、安全な通行が確保された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	真開橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05073	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R7 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業、過疎対策事業で行う事業。 L=84m W=10.0m 1年目 調査業務 2年目 設計業務 3年目 修繕工事	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、調査を行っている。その調査の結果、町道沢田原線真開橋が緊急的に補修が必要があると判断されたことにより、長寿命化のために修繕工事が急務となった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績			6,400 6,400	6,400	6,400
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率			0 0 -	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			30 30 100.0%	30	60
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			0 0 -	0	60 0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		真開橋橋梁改修事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		8,684	3,025	3,025	8,684	国庫支出金			8,684	3,025	3,025	8,684		
県支出金						県支出金								
町債			7,100	7,100		町債				7,100	7,100			
その他特財						その他特財								
一般財源		5,468	375	375	5,468	一般財源			5,440	375	375	5,440		
合計		14,152	10,500	10,500	14,152	合計(A)			14,124	10,500	10,500	14,124		
財源名称	道路メンテナンス事業					従事正職員人数			1	1	1	1		
	過疎対策事業債					延べ業務事務時間			60	60	120	60		
						人件費計(千円)(B)			200	200	400	200		
	最終予算額		14,152 千円	予算執行率		99.8%	トータルコスト(A+B)			14,324	10,700	10,900	14,324	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	長寿命化等に向けて、適切な調査結果をとりまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	河川維持補修費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05180-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	緊急性の高い箇所は、随意契約を行い早期発注に努めている。また、災害復旧事業と連携させた整備を進めている。	普通河川は、鏡野町の行政財産であり、適切に管理する義務がある。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 普通河川水村川	ア 延長	m	見込 実績			106 106		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 河川の適切な維持管理	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		
イ 地区要望への対応	イ 対応率	%	目標 実績 達成率			70 70 100.0%		

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 河川のパトロール	ア パトロール回数	回	目標 実績 達成率			4 4 100.0%		
イ 修繕工事の発注	イ 補修箇所数	箇所	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の住民・世帯	ア 迅速的確に救助・救護される
イ 自主防災組織	イ 災害から身体、生命及び財産を守る
ウ	ウ 自主防災意識を高める
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 08 土木費		03 項 03 河川費		03 目 03 河川維持費		01 01 予算上の事業名 河川維持補修費					05180-0 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			10,156			10,156	一般財源			9,249			9,249	
合計			10,156			10,156	合計(A)			9,249			9,249	
財源名称							従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			20			20	
							人件費計(千円)(B)			67			67	
	最終予算額	10,156 千円	予算執行率	91.0%	トータルコスト(A+B)					9,316			9,316	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	浸水被害の軽減を図り、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	河川維持補修費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05180	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	岩谷 宣幸
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	緊急性の高い箇所は、随意契約発注を行い、早期対応による安全確保に努めている。基本的に災害復旧事業と重複させ復旧整備の推進を図る。	準用河川及び普通河川は、鏡野町の行政財産であり、適切に管理する義務がある。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 準用河川、普通河川	ア 河川延長	km	見込 実績	140 140	140 140	140 140	140	140
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 河川の適切な維持管理	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標 実績 達成率	60 60 100.0%	50 50 100.0%	40 40 100.0%	40	40
イ 地区要望への対応	イ 対応率	%	目標 実績 達成率	80 80 100.0%	70 80 114.3%	70 70 100.0%	70	70

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 河川のパトロール	ア パトロール回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12
イ 修繕工事の発注	イ 補修箇所数	箇所	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	2 5 250.0%	2 11 550.0%	2	2



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の住民・世帯	ア 迅速的確に救助・救護される
イ 自主防災組織	イ 災害から身体、生命及び財産を守る
ウ	ウ 自主防災意識を高める
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 土木費		08 項 河川費		03 目 河川維持費		03 事業 中事業 予算上の事業名 河川維持補修費					01 01 05180 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債		3,600				-3,600	町債	3,600					-3,600	
その他特財							その他特財							
一般財源	13,000	31,700	13,030	5,500	5,500	-18,670	一般財源	10,291	14,708	10,437	5,500	5,500	-4,271	
合計	13,000	35,300	13,030	5,500	5,500	-22,270	合計(A)	10,291	18,308	10,437	5,500	5,500	-7,871	
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						150	250	250	250	250			
	人件費計(千円)(B)						513	841	834	834	834		-7	
	最終予算額		13,030 千円	予算執行率		80.0%	トータルコスト(A+B)		10,804	19,149	11,271	6,334	6,334	-7,878

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	浸水被害の軽減を図り、今後も継続する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	普通河川水村川河川改修事業費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05181	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 5 年度~ 7 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	河川護岸修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=106m 1年目 測量設計・用地補償 2年目 護岸修繕 3年目 護岸修繕	本河川は、過去にも豪雨等により護岸崩壊が発生しており、度々浸水被害が生じてきた。近年の集中豪雨等により再び浸水被害が発生する可能性があることから、護岸修繕等の緊急的な対策が必要となっている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 普通河川 水村川	ア 河川延長	m	見込 実績			106 106	106	106
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 河川護岸の早期修繕	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標 実績 達成率			3 3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%
イ 地区要望への対応	イ 対応率	%	目標 実績 達成率			60 60 100.0%	70 85.7%	70

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標 実績 達成率			5 5 100.0%	5 100.0%	5 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の住民・世帯	ア 迅速的確に救助・救護される
イ 自主防災組織	イ 災害から身体、生命及び財産を守る
ウ	ウ 自主防災意識を高める
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 03 河川費		目 03 河川維持費		予算上の事業名					事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			3,300	7,700	6,800	3,300	町債			3,300	7,700	6,800	3,300	
その他特財							その他特財							
一般財源			5,900			5,900	一般財源			4,800			4,800	
合計			9,200	7,700	6,800	9,200	合計(A)			8,100	7,700	6,800	8,100	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数				1	1	1	1
							延べ業務事務時間				30	60	60	30
							人件費計(千円)(B)				100	200	200	100
	最終予算額		9,200 千円		予算執行率		88.0%		トータルコスト(A+B)		8,200	7,900	7,000	8,200

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	来年度からの着工に向けて、費用削減等の工法検討を行い設計をまとめることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	住宅共通経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05252	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	公営住宅法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	建築業務全般に必要な経常経費及び建築業務の研修会参加の負担金等を計上している。	建築係員の技術向上のため(事業実績調査については平成24年度より開始)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 建築系の職員	ア 技術員の数	人	見込 実績	3 3	3 3	3 3	3	3
イ 適正な事務事業量	イ 建築工事・業務委託発注件数	件	見込 実績	60 56	60 60	60 39	60	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 職員の技術向上	ア 研修・出張した延べ人数	人	目標 実績 達成率	15 8 53.3%	15 10 66.7%	15 9 60.0%	15	15
イ 適正な事務事業の実施	イ 技術員一人あたりの発注件数	件	目標 実績 達成率	20 19 95.0%	20 20 100.0%	20 13 65.0%	20	20
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 研修・出張への参加	ア 研修・出張回数	件	目標 実績 達成率	15 8 53.3%	15 10 66.7%	15 9 60.0%	15	15
イ 係内・関係課との協議	イ 係内及び関係課と協議した月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 08		01 項 06		01 目 01		01 中事業 03 予算上の事業名					05252 事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		住宅共通経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財	376	411				-411	
一般財源	434	414	494	421	421	80	一般財源	27	1	449	421	421	448	
合計	434	414	494	421	421	80	合計(A)	403	412	449	421	421	37	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20		
							人件費計(千円)(B)	68	67	67	67	67	-1	
	最終予算額		494 千円		予算執行率		90.8%	トータルコスト(A+B)	471	479	516	488	488	36

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	建築係員の技術向上のための費用であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	建築物耐震診断等事業費補助金	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05254	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	建築係	担当者・シート作成者	岡田 悠暉
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町建築物耐震診断等事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町民の民間建築物、住宅の耐震診断に係る費用の一部を補助し耐震対策を施すことにより地震による人的・経済的被害を軽減させる。 ・耐震診断のできる県知事指定の建築士事務所により耐震診断を行った場合、その費用の一部を補助する。	平成16年中越地震を始め、19年能登半島地震、20年の岩手宮城内陸地震等の発生による甚大な人的・経済的被害が発生している。また岡山県では南海、東南海地震が予測される中、被害を最小限に食い止めるため、国の法整備、県の計画立案に合わせて開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,497	12,358	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	11,627		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住宅の耐震診断	ア 耐震診断等実施件数	件	目標	6	6	1	1	1
			実績	2	0	0		
			達成率	33.3%	0.0%	0.0%		0.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、相談等	ア 申請受付件数	件	目標	6	6	1	1	1
			実績	2	0	0		
			達成率	33.3%	0.0%	0.0%		0.0%
イ 補助金交付	イ 補助金交付件数	件	目標	6	6	1	1	1
			実績	2	0	0		
			達成率	33.3%	0.0%	0.0%		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 08		01 項 06		01 目 01		01 中事業 05					事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		建築物耐震診断等事業費補助金					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金	34		30	30		国庫支出金	34			30	30			
県支出金	17		15	15		県支出金	17			15	15			
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	17		15	15		一般財源	17			15	15			
合計	68		60	60		合計(A)	68			60	60	0		
財源名称	建築物耐震診断補助事業補助金(国費)					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	建築物耐震診断補助事業補助金(県費)					延べ業務事務時間	20	10	10	20	20			
						人件費計(千円)(B)	68	34	33	67	67	-0		
	最終予算額		0 千円	予算執行率		トータルコスト(A+B)	136	34	33	127	127	-0		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	広報への掲載や補助金の交付申請等を行ったが、相談が少ない状況である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	木造住宅耐震改修事業費補助金	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05256	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	建築係	担当者・シート作成者	岡田 悠暉
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町木造住宅耐震改修事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町民の民間建築物、住宅の耐震改修に係る費用の一部を補助し、耐震対策を施すことにより人的・経済的被害を軽減させる。 ・見積を所有者に徴収してもらい、耐震改修のみに係る補助額を算定し補助を行う。	平成19年から耐震診断事業を開始し、診断結果を踏まえた改修に対する補助事業として平成25年から取り組んでいる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,497	12,358	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	11,627		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住宅の耐震改修	ア 耐震改修実施件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、相談等	ア 補助金受付件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ 補助金受付	イ 補助金交付件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		木造住宅耐震改修事業費補助金						
								01	07						05256
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金	34			250	250		国庫支出金	34			250	250			
県支出金	17			125	125		県支出金	17			125	125			
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源				125	125		一般財源	17			125	125			
合計	51			500	500		合計(A)	68			500	500	0		
財源名称	木造住宅耐震事業費補助金(国費)						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	木造住宅耐震事業費補助金(県費)						延べ業務事務時間	10	10	10	20	20			
							人件費計(千円)(B)	34	34	33	67	67	-0		
	最終予算額		0 千円		予算執行率		トータルコスト(A+B)		102	34	33	567	567	-0	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	広報への掲載や補助金の交付申請等を行ったが、相談が少ない状況である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	



事業番号	事務事業名	公営住宅等経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05278	政策名	4	係名	住宅係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	45	根拠法令等	公営住宅法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町内8か所55戸の公営住宅法により建設された町営住宅の維持管理を行う事業 ・入居者からの修繕申し出があったら現地で調査し、直営で対応できないものは業者へ発注し、費用は住宅使用料を充当する。 住宅:芳野団地 4戸、竹田団地 6戸、小座団地 19戸、円宗寺団地 10戸、湯の坂団地 8戸、細田団地 4戸、女原団地 2戸、羽出団地 2戸	昭和45年度の町営住宅の供用開始時より、老朽化等による建築物又は備付備品の破損修繕及び維持管理のため開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町営住宅施設	ア 管理戸数	戸	見込 実績	55 55	55 55	55 55	55	55
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支障なく使ってもらう	ア 修繕件数	件	目標 実績 達成率	10 18 180.0%	10 16 160.0%	10 12 120.0%	10	10 120.0%
イ 家賃を納付してもらう	イ 家賃収納率	%	目標 実績 達成率	100 99 99.0%	100 99 99.0%	100 98 98.0%	100	100 98.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入居者の修繕申出受付	ア 申出件数	件	目標 実績 達成率	10 18 180.0%	10 16 160.0%	10 12 120.0%	10	—
イ 苦情などの処理	イ 苦情処理件数	件	目標 実績 達成率	5 6 120.0%	5 3 60.0%	5 3 60.0%	5	5 60.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		公営住宅等経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財	4,079	2,465				-2,465		
一般財源	4,102	3,846	1,038	3,186	3,186	一般財源		790	996	3,186	3,186	206		
合計	4,102	3,846	1,038	3,186	3,186	合計(A)	4,079	3,255	996	3,186	3,186	-2,259		
財源名称	従事正職員人数						3	3	3	3	3			
	延べ業務事務時間						60	60	60	60	60			
	人件費計(千円)(B)						205	202	200	200	200	-2		
	最終予算額	1,038 千円		予算執行率	95.9%		トータルコスト(A+B)	4,284	3,457	1,196	3,386	3,386	-2,261	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	公営住宅法により建設された町営住宅の維持管理に必要なため、今後も継続して事業を行う必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	特公債・その他住宅等経常管理費	所管課名	建設課	令和 5 年度課長名	岩佐 誠己
05279	政策名	4	係名	住宅係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	45	根拠法令等	特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町内6か所の42戸の特公債、その他住宅の維持管理を行う事業。 ・入居者からの修繕申し出があったら現地で調査し、直営で対応できないものは業者に発注し、費用は住宅使用料を充当する。 住宅:細田2戸、寺ヶ原6戸、中原6戸、ヴィラヤマセミ13戸、エコロマンの丘5戸、ハイランドKAMISAIBARA10戸の6団地、42戸。	平成5年度の町営住宅の供用開始時より、老朽化等による建物又は備付備品の破損修繕及び維持管理のため開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町営住宅施設	ア 管理戸数	戸	見込	42	42	40	40	40
イ	イ		実績	42	42	40		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支障なく使ってもらう	ア 修繕件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績	14	16	12		
			達成率	140.0%	160.0%	120.0%		120.0%
イ 家賃を納付してもらう	イ 家賃収納率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	97	97	98		
			達成率	97.0%	97.0%	98.0%		98.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入居者の修繕申し出受付	ア 申出件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績	14	16	12		
			達成率	140.0%	160.0%	120.0%		120.0%
イ 苦情などの処理	イ 苦情処理件数	件	目標	5	5	5	5	5
			実績	3	6	3		
			達成率	60.0%	120.0%	60.0%		60.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		特公債・その他住宅等経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財		3,512				-3,512		
一般財源	10,050	3,863	4,546	3,387	3,387	683	一般財源	9,150	5	4,543	3,387	3,387	4,538	
合計	10,050	3,863	4,546	3,387	3,387	683	合計(A)	9,150	3,517	4,543	3,387	3,387	1,026	
財源名称							従事正職員人数	2	2	2	3	3		
							延べ業務事務時間	100	100	100	100	100		
							人件費計(千円)(B)	342	336	334	334	334	-3	
	最終予算額	4,546 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)	9,492	3,853	4,877	3,721	3,721	1,023	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	特公債・その他住宅の維持管理に必要なため、今後も継続して事業を行う必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	